



東 俣 野 9 月 号

東俣野小学校 学校だより 平成28年8月29日

夏休みを終えて

校長 村田 幹男

37日間の夏休みを終えて、今日から前期後半がスタートしました。いつも思うのは「あっという間」だったということです。そう思うのは私だけかもしれませんが……。

今年の夏休みも暑い日が続きましたが、子どもたちは猛暑にも負けず、元気に楽しく毎日を過ごすことができたのではないかと思います。

暑中見舞いや残暑見舞い等、担任へのお便りが学校に届いていました。それぞれのご家庭で充実した夏休みを過ごしていることや早く先生やクラスの友だちに会いたいという思いが伝わってくるあたたかい内容でした。

4年生は植物の水やりと観察に交代で来校。おかげですくすく成長し、実りの秋を迎えられそうです。低学年の人たちはおうちで朝顔や野菜の世話をがんばっていたことでしょう。

夏季水泳教室には、たくさん子どもたちが参加しました。どの子もみんながんばっていましたが、この夏ですいぶん力強い泳ぎになりました。小雀小のプールを会場にした区の水泳大会では4年生以上33名が出場し、近隣の小学校の子どもたちと水泳の成果を競い合い、交流を深めました。他校とレースをするのは、子どもたちも気合いが入るようで、多くの子が自分のベストタイムを更新できました。

毎年恒例の地域のお祭りも楽しい思い出だったと思います。むじゃきに買い物をしている姿、浴衣を着て楽しく踊っている姿など、いつもと違う雰囲気の子供たちが見られました。和太鼓クラブのみなさんも、9月の八坂神社のお祭りに向けて、いっしょうけんめい練習に励んでいました。

この夏にはリオデジャネイロオリンピックも開催されました。ご家庭でも、連日テレビ観戦をして、代表選手の活躍に胸躍らせていたのではないのでしょうか。

日本も、今回のオリンピックでは、過去最多となるメダル数を獲得するという見事な活躍でした。初めてメダル獲得となった種目、久しぶりにメダル獲得となった種目が多かったのも今回の特徴でした。選手たちのインタビューや彼らのオリンピック当日までの経緯を聞くと、誰もが、自分の夢を決してあきらめず、並大抵ではない努力をしてきたことが分かります。そして、苦しい練習を続けてこられたのは、周りの多くの人たちに支えられたからということも分かります。

オリンピック選手の活躍から、子どもたちもきっと何かを感じてくれたことと思います。